

関東信越厚生局・埼玉県共催
関東信越厚生局 第12回地域包括ケア応援セミナー
埼玉縣市町村・地域包括支援センター・市町村社協管理職等合同研修
アンケート集計結果

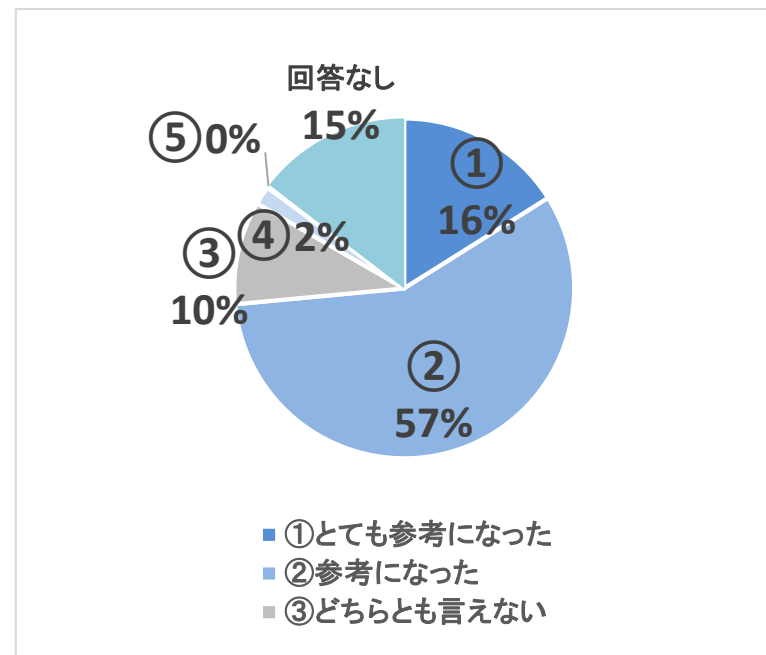
日程：令和元年6月3日(月) 13時00分～16時40分
 会場：さいたま新都心合同庁舎1号館 講堂
 来場者数：407人

1. 所属

国 (厚生局)	都県	市町村 (埼玉県外)	市町村 (埼玉県)	地域包括 (埼玉県)	社会福祉 協議会 (埼玉県)	生活支援 コーディネーター (埼玉県)	その他	合計
6	14	61	47	154	32	11	11	336

2.(1)行政説明「これからの地域づくり戦略」について

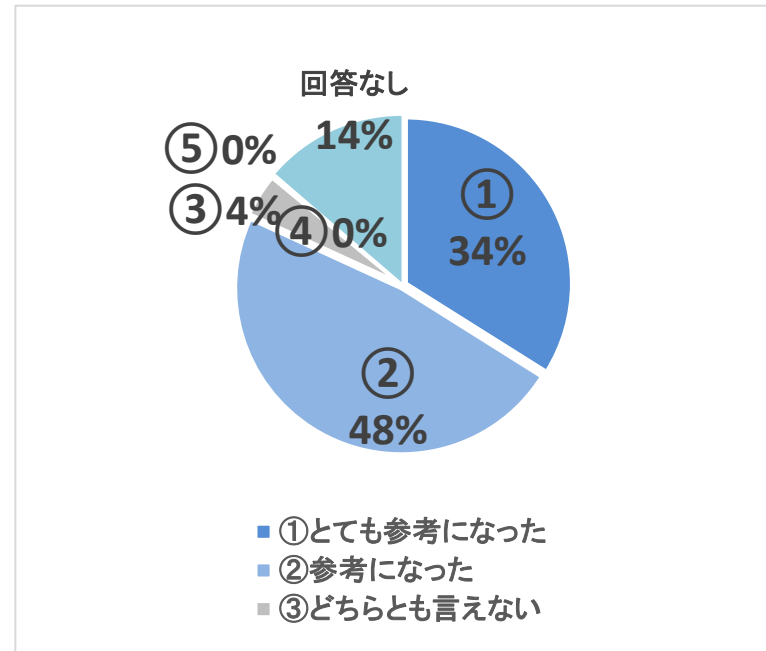
	実数	%
①とても参考になった	54	16%
②参考になった	193	57%
③どちらとも言えない	33	10%
④やや不満	6	2%
⑤不満	1	0%
回答なし	49	15%
合計	336	



- 行政まかせでなく、地域の自主性、自立性を理解して頂くことが重要といった点が参考になった。
- 人口減少による支え手の減少により、高齢者にも支え手になってもらうことが必要だが、そのために通いの場が必要であり、また地域に合わせた形をとることで参加してもらえるものになる。
- 地域づくりの第一部”集いの場作り”を取りかかりとして、私達も集いの場づくりを重点に置いてやっています。配布説明での資料が分かりやすく見やすかったので参考になりました。国が目指す方向と連動してやっていることが確認できて少し安心しました。

2.(2)講演1「地域包括ケアシステムのこれまでとこれから」について

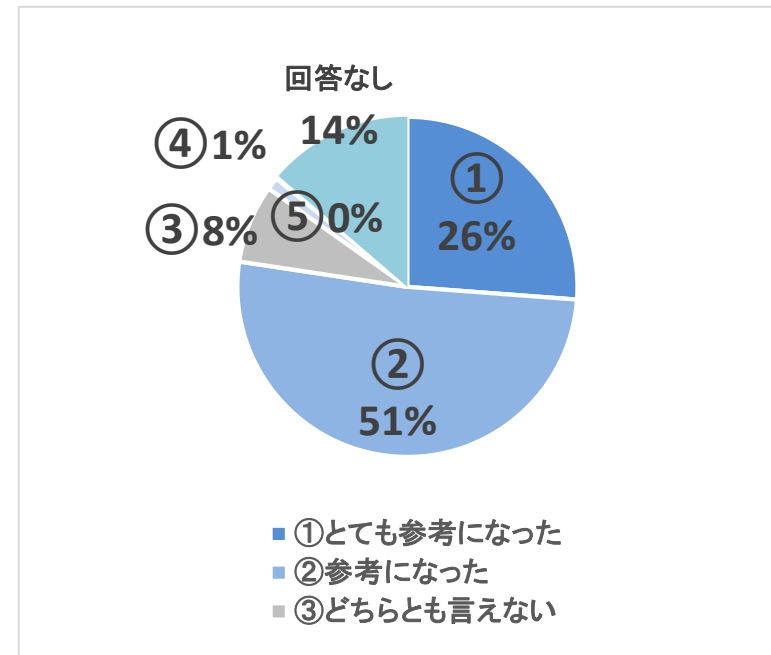
	実数	%
①とても参考になった	114	34%
②参考になった	161	48%
③どちらとも言えない	14	4%
④やや不満	1	0%
⑤不満	0	0%
回答なし	46	14%
合計	336	



- 社会の推移から、何が課題となっているかを経過を含めてよく知る事が出来た。そこから、これからの理念的な部分で何を見据えるべきか考える事が出来た。
- これまでの流れや展開と、これからについてもとてもわかりやすく、勉強になりました。地域住民にどう地区に入ってもらい、どう活躍して頂くかは課題になりますが、これからも働きかけていきたいと思えます。
- 歴史的展開、死亡率の関係などの話は聞く機会がなかったので、興味深く聞けました。統計データも説得力があり、歴史的背景を知り、現在に至る過程がよくわかりました。

2.(3)講演2「まちぐるみで取り組む地域包括ケア」について

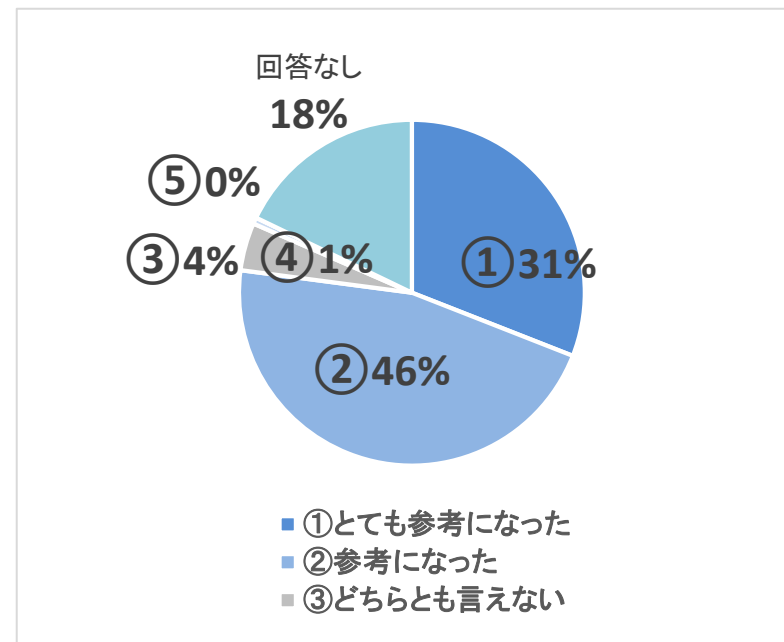
	実数	%
①とても参考になった	88	26%
②参考になった	172	51%
③どちらとも言えない	25	7%
④やや不満	4	1%
⑤不満	1	0%
回答なし	46	14%
合計	336	



- 支援する側もされる側も自立に向けた資格や、やりがい作りが大切。生活支援コーディネーターの役割の重要性を感じた。互助、共感づくりなど、難しいがやりがいのある仕事だと思う。
- 堀田先生の力強い声で語られる内容はその通りだと思いました。住民の力を引き出すこと、つながりを作る難しさを解決していきたいと思いました。
- 住民同士の顔が見えるネットワーク作りから広がる。まずは信頼関係を築いていく。共感が助け合いの第一歩と理解出来ました。

2.(4)田中理事長と堀田会長との対談について

	実数	%
①とても参考になった	104	31%
②参考になった	155	46%
③どちらとも言えない	15	4%
④やや不満	2	1%
⑤不満	0	0%
回答なし	60	18%
合計	336	



- リラックスした雰囲気、内容も分かりやすかったです。私は包括職員ですが、コーディネーターの方の孤独にも寄り添い、フォローできればと思いました。
- 自分で出来ることを地域で活かし、自分ができない事を助けてもらう、お互い様の視点を持つことが大切だと思った。お二人のお話を伺い、担当の第2層の生活支援コーディネーターと協力して住民や地域に関わる人々の得意分野を活かし、必要としている方とのニーズとマッチングしていこうと思いました。
- 男性を外に連れ出すことの課題があるが、観光ボランティアなど集いの場にこだわらずに、必要性を説明して、社会参加を促すこと。今迄の仕事を活かした役割を見い出すことが大切だと理解できました。

3. 今後、地域包括ケアシステムを推進する上で国(厚生局含む)や都県(又は、所属する市町村)に期待することは何ですか。

- 地域住民同士の支え合いの仕組みを作ろうとしていることがわかるテレビCMを流してもらえるとありがたい。
- 地域包括ケアシステムを推進することで、共生社会の実現に結びつくものであることをより強調すべき。
- 高齢関係部署だけでなく、市全体としてのデザイン作りに力を注いでほしい。

4. その他ご意見やご要望があれば自由に記入してください。(セミナーの内容、開催場所、実施時間等)

- 自治体や生活支援コーディネーターでもいいので、現場で実践している人の講演があってもいいのでは。
- 行政職員(包括も含めて)は、地域の中に出て、様々な声を吸い上げることを続けていきたい。
- 今回の研修を通じて、住民主体の地域づくりがこれからの高齢化社会には必要だと感じました。その為に包括として何をすべきか考えてみたいと思います。大変参考になりました。ありがとうございました。